

HAT CROSS

神戸赤十字病院広報誌
2007 vol.14

(表1)

10の医療サービスオリティ	
①	患者さんの言葉で正確にわかりやすく説明されていること
②	職員が必要な技術と知識を身につけていること
③	職員が親切で思いやりがあり丁寧であること
④	職員が患者さんの要求や問題に迅速かつ創造的に対応していること
⑤	職員が患者さんのニーズを理解するよう努力し注意を払っていること
⑥	待ち時間が少なく、立地的にも時間的にも便宜性が大きいこと
⑦	施設と職員を信用できること
⑧	サービスに一貫性があり、正確に行われていること
⑨	サービスが安全であること
⑩	サービスの質が正確に形として表現されていること

当院は、全国的な患者満足度調査に平成16年度から参加してきました。この調査は、厚生労働省の補助を受けて実施された「臨床指標を用いた医療の質向上に関する国際共同研究」の一環として行われた調査です。平成18年度は、全国の国立病院、労災病院、赤十字病院、社会保険病院、済生会病院、国立大学病院、自治体病院、私立病院など計366施設が参加しました。このうち、急性期型500床未満病院、167施設中、病院満足ポイントランキングで入院3位、外来7位という結果でした。近畿地方に限ると、参加病院58施設中、入院、外来とも1位でした。

病院満足ポイント・ランキング 入院3位・外来7位
— 全国167施設の結果報告される —

病院満足ポイントでは、「たいへん満足」が入院患者さまで77%、外来患者さまで50%あり、職員一同の喜びとするところですが、入院1件と外来4件で「やや不満」、外来1件で「たいへん不満」の声をいただきました。これについては、職員一同真摯に受け止めて、自由に記載していただいた患者さまのコメントなどを参考に、更なる改善に努めて参ります。(図1)

この調査では、前年度に引き続き、医療サービスの質を10の側面から評価しています。(表1)

入院患者さまでは⑥の項目以外、入院、外来とも、すべての項目で昨年の評価を上回っています。各項目5点満点中、入院、外来とも、すべての項目において4点以上の高い評価をいただきました。

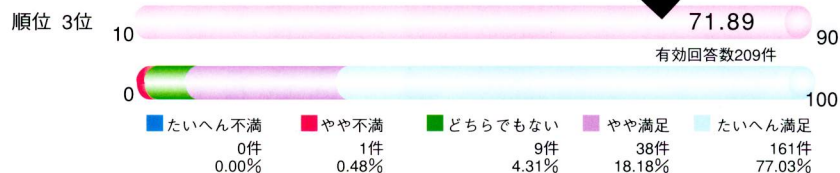
平成16年度、17年度に引き続き、今回の患者満足度調査でも、高い評価をいただきましたが、これに甘んじることなく、よりよい日本一の病院を目指して、これからも職員一同頑張つて参ります。

	参加施設	入院	外来
平成16年度	91	3位	1位
平成17年度	139	5位	4位
平成18年度	167	3位	7位

(図1) 病院満足ポイント・ランキング

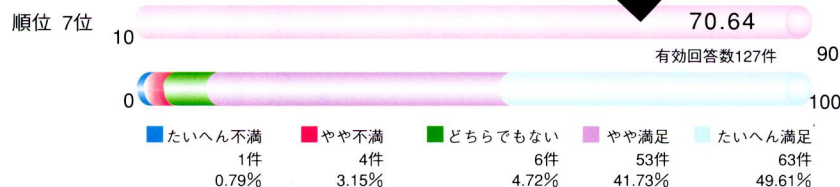
①入院 病院満足のポイント

「全体としてこの病院に満足している」への回答



②外来 病院満足のポイント

「全体としてこの病院に満足している」への回答



『エビデンスに基づいた テラーメイド治療をめざして』

呼吸器科部長 梶本 和宏

呼 吸 器 科



梶本呼吸器科部長

皆さんこんにちは。呼吸器科（呼吸器内科）をご存じですか？肺や気管支などの病気を専門とし、咳・痰・血痰・息切れなどの症状がある時に受診していただく科です。当科は、所属医師2名に加え、内科所属医師2名の協力を得て診療しています。4名とも内科専門医であるとともに日本呼吸器学会あるいは日本呼吸器内視鏡学会の専門医です。

★対象疾患

当科では肺癌などの肺腫瘍や肺炎をはじめ、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（肺気腫や慢性気管支炎）、間質性肺炎、慢性咳嗽、胸膜・胸水疾患、気胸、睡眠時無呼吸症候群など幅広く診療しています。また血液疾患の一部（悪性リンパ腫等）も診療しています。では肺癌診療についてご説明しましょう。

★肺癌

近年肺癌が増加しています。当院では特に肺癌の早期発見と迅速な診断・治療につとめています。胸部X線やCT上でがんが疑われれば、まず喀痰検査や気管支内視鏡検査を行い、がん細胞の有無を確認します。症例により放射線科医と協力しCTガイド下肺生検も行います。MRIやアイソトープ検査も院内で可能です。治療においては、手術可能な場合は呼吸器外科専門医により、より確実でより低侵襲（お体に負担の少ない）な手術療法を行います。化学療法



（抗癌剤）は、呼吸器専門医が豊富な経験とエビデンスに基づいた標準的治療を行います。また当院ではリニアック装置を備えており、放射線治療専門医による放射線治療が可能ですし、症例により放射線療法と化学療法を組み合わせることで治療効果を高めています。すなわち当院では、各科との連携により、診断、手術療法、放射線療法、化学療法全て院内で迅速に対応できることが特徴です。

★テラーメイド治療をめざして

患者さま各々ご病気の種類も程度も違いますし、ご病気に対するお考えや社会的なご事情も様々です。私たちは毎週当科入院患者さま全員の症例検討会を行い、エビデンスに基づいた医療情報と医療経験から、各患者さまに合った検査・治療法を選択・ご提案し、患者さまのご同意を得て実施するよう心がけています。皆様と一緒にご病気を克服できるよう努めてまいりますので、よろしくお願い致します。



後列左より）國定副部長、森本医師、堀部薬剤師、末吉看護師長
前列左より）杉本副部長、梶本部長

『狂犬病とワクチン』

薬剤部 鈴木 早苗



昨年11月に、フィリピンから帰国後に狂犬病を発症した事例が報告されました。フィリピン渡航中の8月末に犬に手を咬まれ、11月に風邪様症状が発現し、数日後に水が飲みにくい、風を不快に感じる症状や幻覚症状が確認され、亡くなられています。

狂犬病は、犬だけではなく、猫、コウモリ、キツネ、アライグマ等に咬まれて感染する恐ろしい疾患で、世界で年間5万人以上の方が亡くなっています。通常、1〜3ヶ月程度の潜伏期を経て、発症すると、ほぼ100%死亡します。

もしも、狂犬病のおそれのある犬等に咬まれてしまったら、すぐに傷口を石鹸と水でよく洗い、医療機関で、できるだけ早く傷の処置と狂犬病ワクチン接種を受けて下さい。0（咬まれた日）、3、7、14、30、90日の計6回接種を行います。

予防には、狂犬病ワクチンを4週間間隔で2回、さらに6〜12カ月後に1回接種が必要です。予防接種を受けていても、咬まれた場合は、ワクチンの接種は必要です（接種回数は減る場合があります）。しかし、現在は入手困難な状態が続いています。

★くれぐれも動物に、むやみに手を出して咬まれないよう注意して下さい

●狂犬病多発地域（年間死亡者数100人以上）

「アジア」インド、パキスタン、中国、バングラディシュ、ミャンマー、フィリピン、インドネシア「アフリカ」ウガンダ

一部の地域を除いて、ほとんどの国で発生しています。

第15回 HAT健康セミナー 報告

「メタボリック症候群について」

最近「メタボリック症候群」という言葉をよく耳にすることと思います。5月9日に開催された第15回セミナーでは、そのメタボリック症候群（症候群）について、内科・岡林副院長からユーモアを交えて、わかりやすくお話いただきました。

まず内臓脂肪（ウエスト周囲径が男性85cm以上、女性90cm以上）が必須条件で、脂質代謝異常（中性脂肪150mg/dl以上、HDLコレステロール40mg/dl未満）、血圧高値（収縮期130mmHg以上、拡張期85mmHg以上）、高血糖（空腹時血糖110mg/dl以上）などがある条件を満たすと診断されます。これらは、動脈硬化、心臓疾患、脳卒中などの危険因子になります。食事療法・運動療法など、自分自身の健康管理が重要になってくるので、福井栄養課長からも健康食についてのアドバイスもいただきました。

栄養課
だより

12



夏といえは夏バテ、夏やせ、土用の丑の季節です。

食べすぎは生活習慣病に移行し肥満へとつながりますし、食欲がないから口当たりの良い冷たい食品ばかり食べていると胃腸の調子が悪くなり体力が低下します。食事は規則正しく摂り、間食は控えましょう。

予防のポイント4つです。

- ① 睡眠を良く取る。
- ② 冷房温度を下げ過ぎない。
- ③ 運動をする。
- ④ 食事を規則正しく。

食事は栄養素を過不足なく摂取することが重要です。身体も食事バランスが重要です。

必要な栄養素は、良質なたんぱく質を中心にビタミン、ミネラルをバランス良くとる事が大切です。

今回ご紹介する回鍋肉は、テンメンジャン、紹興酒、酒粕と本格的な味と、焼肉のたれでも作れます。

● 回鍋肉 ●

エネルギー 310kcal
タンパク質 10.7g
脂質 21.4g

豚バラを豚モモに替えるとエネルギー半分、脂質は1/4になります。

材料			
豚バラ	60g	たまねぎ	50g
にんじん	10g	キャベツ	100g
ピーマン	30g	土しょうが	3g
味付け	20g		

（焼肉のたれ又は市販の回鍋肉のたれ）



基本方針

1. 患者さまを中心として、人権と意思を尊重し、安心と満足が得られる医療を提供いたします。
2. 地域医療機関との連携を保ち、患者さまに一貫した医療を提供いたします。
3. 救急医療、災害救護活動、国際救援活動を行います。
4. 内外の医療従事者の育成に努めます。
5. わたしたちは、日々研修・研鑽し、明るく活力のある職場づくりに努めます。

神戸赤十字病院「患者の権利に関する宣言」

神戸赤十字病院は、医療の中心は患者さまであり、医療行為が患者さまと医療関係者との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識し、ここに、「患者の権利に関する宣言」を制定いたします。

当院の全職員は、この「患者の権利に関する宣言」を守り、患者さまの医療に対する主体的な参加を支援してまいります。

1. 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 病気、検査、治療、見直しなどについて、わかりやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受け、納得したうえで、検査や治療方法などを自分の意思で選ぶ権利があります。
5. 自分が受けている診断や治療について、他の医師の意見を求める権利があります。（セカンドオピニオン）
6. 自分が受けている医療を知るために、診療記録の開示を求める権利があります。
7. 研究途上にある医療に関して、目的や危険性などについて十分な情報提供を受けたいと、それを受けるかどうか決める権利と、何らの不利益を受けることなくいつでも中止を求める権利があります。
8. 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

地域医療支援病院の承認を受ける

トピックス&ニュース

神戸赤十字病院は、平成19年3月27日付で兵庫県から地域医療支援病院の承認をいただきました。平成19年3月30日現在、地域医療支援病院の承認を受けている病院は、全国で153病院です。兵庫県では、県立淡路病院について2番目、二次医療圏である神戸医療圏では初めての承認施設となります。当院が神戸医療圏で地域医療支援病院として役割を果たしていくことの責任の重大さを感じています。

地域医療支援病院に求められる役割、つまり当院が今後も行っていくなければならないことは、次のようなことです。

- ① かかりつけ医などから、検査や入院、手術の必要な紹介患者さまを積極的に受け入れ、病状が安定した患者さまはかかりつけ医などで引き続き治療を受けていただくようにすること、
- ② 入院や手術の必要な救急患者さまを積極的に受け入れること、
- ③ 地域の医療従事者の方々に当院の施設や設備を利用していただくようにすること、
- ④ 地域の医療従事者の方々の向上につながるような研修会などを行うていくこと、

これらに加えて、今後、
⑤ 在宅医療を支援していくこと、
つまり、在宅療養中の患者さまが入院治療が必要になった場合には、積極的に受け入れること、が重要な役割の

一つになると考えられます。

当院は開院当初より病診・病病連携の推進、救急医療への積極的な取り組みを病院方針の一つとして掲げて参りましたが、今後も今までもおり紹介患者さまや救急患者さまを積極的に受け入れていくことにより、地域医療に貢献していきたくと考えています。



やすらぎのコンサートのご案内

- ★日 時：平成19年7月30日(月)16時～17時
★場 所：神戸赤十字病院 1階ロビー
★演 奏：聖霊女子短期大学付属高等学校
ハンドベル部(秋田市)
★曲 名：アメージンググレイス
エーデルワイス
千の風になって
月の砂漠
川の流れるように
みあげてごらん 夜の星を など